



町おこしディレクターだより vol. 2

嵐山町の玄関「武藏嵐山駅」周辺を町民の思い出の場に！

いきなりですが、私は、東久留米から電車で嵐山町に通うこともあります。だから、嵐山町の玄関である「駅前」については、あくまで私の主觀ですが、正直、残念な部分があるように思います。駅前には、送迎やバスなどの交通機能（論理的）と人の賑わいやモノの結節点の拠点機能（情緒的）を考えられます。駅前を通勤・通学で利用する人たちは、ただ通過するだけの日常を過ごすのではなく、「買い物をする」「語り合う」など、

消費活動や青春活動が活発に行われるようになると素敵だと思います。35歳の神岡は、学生の笑い声や、姿を見るだけで過去の自分を想起して、心の中で泣き笑いをしております。

「町での思い出」というのは、一生の宝物になります。それは、町を好きになる一歩でもあると思います。故に、駅前が寂しい記憶というのは、今後の嵐山町民にとっても良いはずがないと思います。思い出がある場所には、「また行きたくなる」時があります。そこで、「駅前で思い出化計画」みたいなことを考えていたら…見つけました！

駅前にある「花井商店」という駄菓子屋。今では珍しい距離感の子どもと大人のやりとり。店主いわく、「学校を卒業しても、子どもを産んでも、たまに遊びにくる人がいる」という。まさに、嵐山町の駅前にある花井商店が「思い出」になっているのです。

これから、色々なことを考える中で、嵐山町に住む人が嵐山町にどのように関わるかという意識を持って臨みたいです。私の100歩より、嵐山町民の皆さん総勢の「半歩」を目指して、一緒に作り上げていきましょう。

町おこし
ディレクター

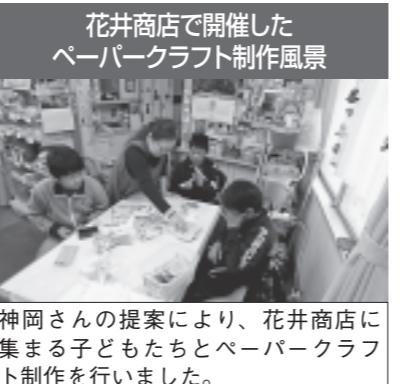
嵐山町に新たな産業の風をおこし、嵐山町を活性化させるための様々な活動を行っています。

問合せ

地域支援課 政策創生担当
☎62-2152



自然資源の調査を行う神岡さん



花井商店で開催したペーパークラフト制作風景

神岡さんの提案により、花井商店に集まる子どもたちとペーパークラフト制作を行いました。

1年前のグロッソ
1年前のセンティヴィア



※写真はイメージです

1年前のグロッソ
1年前のセンティヴィア



※写真はイメージです

嵐山町では平成18年度末で鎌形小学校を閉校しましたが、小学校数は3校のままとなっています。比較すると8名の減少です。嵐山町の小学校入学者数のピークは昭和54年度です。当時の入学者数は何と368名でした。現在はその1/3以下となっています。

嵐山町は今、その①、嵐山町の小学校の平成29年度の入学者数は、114名。平成28年度の入学者数は122名でした。少子化により、学校数の見直しも全国で検討され始めています。文部科学省では平成27年1月に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を公表しました。

実際に小学校の規模の適正化に取り組んでいる自治体があります。比企郡川島町です。川島町でも昭和60年代以降、子どもの数が減少しており、6クラス数は全て1クラスで、児童数が一ヶ

シリーズ

人口減少、少子高齢社会を考える

シリーズ

※現在の高齢化率により既に高齢社会となっているため、シリーズの名称を修正します。
※現在の高齢化率により既に高齢社会となっているため、シリーズの名称を修正します。

担当

地域支援課 地方創生

推進室

☎62-2152



平成31年6月の予想図です。9ヶ月・6万本となり、北海道の富良野を除けば日本最大となります。

現在、約2千本の早咲き（セントイヴィア）が開花していますが、中旬から2万本の遅咲き（グロッソ）が咲き始めます。昨年10月に植付けたばかりなので小振りですが、ラベンダーの中でもとりわけ香りの強い品種ですので、癒しの香りをお楽しみください。

嵐山町の地方創生として「千の苑事業」を開花します。ラベンダーによる観光農業で広く集客し、町の活性化を図ることを目的としています。

2万本のラベンダーが

環境農政課

7月中旬まで臨時駐車場を開設しています。路上駐車はご遠慮ください。

○ラベンダーは地中海原産のシソ科の常緑性低木で多年生植物です。挿し木と圃場への植付け時期は春と秋の年2回です。

○アライベスマによる家屋や農作物への被害が増加しています。こうした被害を防ぐため、県と市町村が協力して以下のとおりアライグマ捕獲従事者養成研修会が開催されます。

アライグマによる家屋や農作物への被害が増加しています。こうした被害を防ぐため、県と市町村が協力して以下のとおりアライグマ捕獲従事者養成研修会が開催されます。

横一列になって1メートル間隔で植付け(H28.10.19ドローンで撮影)



1年前のグロッソ
(H28.6.21撮影)



1年前のセンティヴィア
(H28.6.2撮影)

○千年の苑ラベンダーを紹介！

●場所 嵐山渓谷バーベキュー場東側

●臨時駐車場(約100台)
6月1日～7月14日 9時～16時

○乾燥した環境を好むため『砂漠の花』といわれます。挿し木と圃場への植付け時期は春と秋の年2回です。

○一般的に挿し木で増やします。挿し木により増やします。

○セントイヴィア(約2千本)
北海道富良野と同じイングリッシュ系で春と秋の2季咲きです。平成25年に開発された新種で耐暑と枝分に優れることから選択しました。全国的にもこれだけの本数を植付けてあるのは本町だけです。

濃い紫色の花が多く咲き、挿し木により増やします。

○グロッソ(約2万本)
暑さに強いことから本町でも主力を成します。

甘く強い香りの花を咲かせ、オイルを作り出すラベンダーの中では第一級品です。香料やドライフラワー、花茎が長いのでラベンダースティックにも最適です。生育が遅いのが特徴ですが、ラベンダーの中では最も大きく育ちます。

○アライグマ捕獲従事者養成研修会を開催します

問合せ 環境農政課 農業振興担当 ☎62-0719

○アライグマによる家屋や農作物への被害が増加しています。こうした被害を防ぐため、県と市町村が協力して以下のとおりアライグマ捕獲従事者養成研修会が開催されます。

アライグマによる家屋や農作物への被害が増加しています。こうした被害を防ぐため、県と市町村が協力して以下のとおりアライグマ捕獲従事者養成研修会が開催されます。

